

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No.1 * *

—島牧・寿都の漁期前調査結果—

北海道立中央水産試験場
後志南部地区水産技術普及指導所

調査の概要

2009年4月20日午後6～9時に、西島牧海域においてコウナゴ分布調査を実施しました。白糸岬沖から江ノ島沖にかけての5地点で、集魚灯を用い、たも網でコウナゴ採集を行いました。この調査には、第八喜久丸中山雄一さん、島牧漁協及び島牧村役場の方々にご協力いただきました。

また、4月19日には、寿都海域（弁慶沖および滝ノ間沖）における採集物を、東丸さんより提供いただき、測定することができました。

今回の情報は、これらの調査結果に基づく、コウナゴの成長状況に関する情報です。調査にご協力いただいた関係者の方々に厚くお礼申し上げます。

採集物の主体は平均25mm群と18mm群 → 操業開始は来週初め頃が目安か

先週は海況の悪い日が続き、日～月曜日になってようやく調査を行うことができました。

右図は、島牧、寿都それぞれの調査で得られた採集物を測定して得られた体長組成です。例年と同じく、体長組成には、ふ化時期の異なる群で作られた、いくつかの“山”がみられました。寿都海域の採集物には、体長30mm以上の

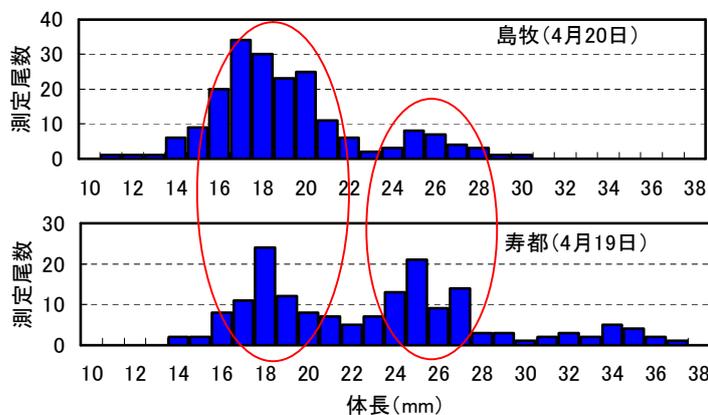


図 調査で得られた標本の体長組成

範囲にある群も認められましたが、両海域ともに、24～28mm（平均約25mm）と15～22mm（平均約18mm）のところに大きな“山”があり、主群はこれらの方と考えられました。平均約18mmのコウナゴが漁獲適正サイズ（22-23mm）に達するのは、あと4～5mmで、1日の成長量を0.7mmとしますと、6～7日程度を要することになるので、来週初め頃が操業開始の目安と考えられます。

今年も、漁獲物標本の組成から、漁模様や終漁時期の見通しについても情報発信する予定ですので、ご協力よろしく申し上げます。